

英語 A (English IV A)

担当教員名	井上 英俊	
学科・専攻, 科目詳細	都市システム工学科 4年 後期 1単位 講義	
学科のカリキュラム表	一般科目 必修科目	
共生システム工学の科目構成表	教養科目 外国語系	
学習・教育目標	共生システム工学	A-2(15%) B-1(25%) E-2(60%)
	JABEE基準1(1)	(a)(f)
科目の概要	(1) 国際化時代に活躍する技術者として必要な英語の基礎能力を身につけるために、特に「聴く・読む」技能を涵養する。 (2) TOEIC の演習問題を通して、実践的な英語運用能力の向上を目指す。	
テキスト(参考文献)	(1) Yamaguchi, M.: 「The TOEIC Test Trainer Target 470」. CENGAGE. (2) 刀祢雅彦: 「システム英単語 Ver.2」. 駿台文庫. (3) 瓜生豊・篠田重晃: 「Next Stage 英文法・語法問題」. 桐原書店.	
履修上の注意	(1) 小テストは語彙を増やす良い機会として、十分に活用すること。 (2) 理由なき遅刻や欠課による小テストの未受験は 0 点の扱いとする。	
科目の達成目標	(1) 英語の聴解力・読解力の向上 (学習教育目標 E-2) : TOEIC 用教材における聴解及び読解に関する演習を通して、実用的な英語運用能力の向上を図る。 (2) 英語の語彙力の増強 (学習教育目標 E-2) : 英単語の学習を通して、英語の語彙力の増強を図る。 (3) 現代社会に直結した題材に触れることによって、将来の技術者として必要な論理性や国際性など、広い教養を身につける。(学習教育目標 A-2・B-1)	
自己学習	目標を達成するためには、次の自己学習が必要である。 ・システム英単語の新出単語について、該当単語、発音のみでなく、用いられている例文も産出可能とすること。 ・授業において学習した英文や英会話を復習し、付属CDを用いて復唱可能な状態になるまで練習すること。	
目標達成度(成績)の評価方法と基準	合格の対象としない欠席条件(割合)	1/4以上の欠課
	[評価方法] (1) 年間 4 回の定期試験 (70%) (2) 随時実施される課題・小テスト・平常の発表等 (30%) [評価基準] (1) 定期試験: ・文章から必要な情報を速く的確に読み取ることができる。 ・聞こえてきた英文を正しく書き取ることができる。 (2) 小テスト: ・基礎的な語彙を正しく使いこなせる。 この配分に基づく評価点が 60 点以上の者を合格とする。	
連絡先	hinoue@akashi.ac.jp	

授業の計画・内容	
第1週	授業のガイダンス 授業の進め方・単語テスト・課題・評価の方法などについて説明を行う。
第2週	Unit 1. 予定 「予定」に関する聴解活動を行う。
第3週	Unit 1. 予定 「予定」に関する読解活動を行う。 動詞・5文型について学習する。
第4週	Unit 2. 数量を尋ねる 「数量を尋ねる」に関する聴解活動を行う。
第5週	Unit 2. 数量を尋ねる 「数量を尋ねる」に関する読解活動を行う。 名詞について学習する。
第6週	Unit 3. 命令・依頼 「命令・依頼」に関する聴解活動を行う。
第7週	Unit 3. 命令・依頼 「命令・依頼」に関する読解活動を行う。 形容詞・副詞について学習する。
第8週	中間試験 中間試験を実施する。
第9週	中間試験の返却と解説 中間試験の返却と解説を行う。
第10週	Unit 4. 広告・宣伝 「広告・宣伝」に関する聴解活動を行う。
第11週	Unit 4. 広告・宣伝 「広告・宣伝」に関する読解活動を行う。 フレーズリーディングについて学習する。
第12週	Unit 5. 時間を尋ねる 「時間を尋ねる」に関する聴解活動を行う。
第13週	Unit 5. 時間を尋ねる 「時間を尋ねる」に関する読解活動を行う。 動名詞について学習する。
第14週	Unit 6. 場所を尋ねる 「場所を尋ねる」に関する聴解活動を行う。
第15週	Unit 6. 場所を尋ねる 「場所を尋ねる」に関する読解活動を行う。 to 不定詞について学習する。
期末試験	